

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2003-55298 (P2003-55298A)

【公開日】平成 15 年 2 月 26 日 (2003.2.26)

【出願番号】特願 2001-241503 (P2001-241503)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 7 C 67/03

C 0 7 C 69/753

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 C 67/03

C 0 7 C 69/753 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 8 日 (2005.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジカルボン酸と、3 級アルコールよりなる混合液中に、触媒の存在下、3 級アルコールとエステル交換し得る一価の酸基を有するエステル化剤を逐次添加することを特徴とする一般式 1 で示されるジカルボン酸ジ 3 級 - アルキルエステルの製造方法。

【化 1】



一般式 1

(式中、 R_1 は炭化水素基を表し、 R_2 は 3 級飽和炭化水素基を表す。)

【請求項 2】

3 級アルコールとエステル交換し得る一価の酸基を有するエステル化剤が、一般式 2 で示されるハロゲン化芳香族スルホニルであることを特徴とする、請求項 1 記載のジカルボン酸ジ 3 級 - アルキルエステルの製造方法。

【化 2】



一般式 2

(式中、X はハロゲン原子を表し、Ar はベンゼン環又は炭素数 1 ~ 3 のアルキル置換ベンゼン環を表す。)

【請求項 3】

触媒が 3 級アミド類であることを特徴とする、請求項 1 記載のジカルボン酸ジ 3 級 - アルキルエステルの製造方法。

【請求項 4】

塩基を共存させてなることを特徴とする、請求項 1 記載のジカルボン酸ジ 3 級 - アルキルエステルの製造方法。

【請求項 5】

一般式 $R_1(COOH)_2$ のジカルボン酸と一般式 XSO_2Ar の芳香族スルホン酸ハライドを反応させ、一般式 $R_1(COOSO_2Ar)_2$ の一価の酸基を有するエステル化物を生成させ、3級アミド触媒の存在下でそのエステル化物と一般式 R_2OH の3級アルコールとを反応させることを特徴とするジカルボン酸ジ3級-アルキルエステルの製造方法。

(なお、 R_1 、 R_2 、 X 、及び Ar については、一般式 1 及び 2 のそれと同じである。)